スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業

（前年度予算額　：　33,181千円 ）
2019年度予算額　：　30,416千円

ス資料

地方公共団体、スポーツ団体、民間企業（観光産業、スポーツ産業）等が一体となり、地域活性化に取り組む組織である「地域スポーツコミッション」等が行う、**「長期継続的な人的交流を図るスポーツ合宿・キャンプ誘致」・「通期・通年型のスポーツアクティビティ創出」**等の活動に対し引き続き支援を行い、**スポーツによる持続的なまちづくり・地域活性化**の促進を図る。
さらに、2019年度は、「**武道等を活用した新規コンテンツの創出**」を柱の１つに据えて支援を行う。

4/15 公募〆切

長期継続的な人的交流を図る「スポーツ合宿・キャンプの誘致」

地域の気候・環境・施設や、2019・2020のメガスポーツイベント等に向け構築された連携体制等を活用し、長期継続的なスポーツチーム・団体の合宿・キャンプ受入を図る活動を支援。

写真提供：佐賀県

写真提供：網走市

スポーツ庁

支援

地方自治体

体育協会　観光産業　企業　商工団体　メディア　スポーツ産業　地域スポーツクラブ　大学　レクリエーション協会

地方自治体、スポーツ団体、民間企業等が一体となり、スポーツと地域資源を掛け合せたまちづくり・地域活性化に取り組む連携組織
「地域スポーツコミッション」

第2期スポーツ基本計画で掲げる、地域スポーツコミッションの設置数目標
56団体（2017年1月現在）➡170団体（2021年度末目標）

恒常的なスポーツ誘客が可能な「通期・通年型スポーツアクティビティの創出」

自然環境を活かしたアウトドアスポーツや日本の独自性を活かした武道など 、季節・年間を通じて体験可能なスポーツアクティビティやその受入体制を構築し、スポーツによる恒常的な交流人口拡大を図る活動を支援。

写真提供：みなかみ町

写真提供：今治市

写真提供：宮崎県

スポーツによる持続的な
まちづくり・地域活性化へ

創出された優良事例を、
全国へ横展開

【地域への社会的効果】

- スポーツのまちとしてのアウターブランディング、
- ローカルアイデンティティ・地域一体感の醸成
- 地域スポーツ人口・関心層の拡大
- 季節・年間を通じての誘客による、従事者の雇用安定

【地域への経済効果】

- 合宿参加者・スポーツツーリストの滞在に係る消費（宿泊・飲食・観光・物販など）
- スポーツアクティビティの参加料収入

2019年度のスポーツ庁の取組について（アクションプログラム2019概要）

新規

武道・アウトドアスポーツをテーマとする

「スポーツツーリズムセミナー」を開催

・2017年度のマーケティング結果や2018年度のプロモーション結果等のエビデンスに基づき、国が地域や関係者に対し、**スポーツツーリズムに取り組む意義を発信する**とともに、**地域と企業等のマッチング機会を設ける**。

・スポーツ庁が、**武道ツーリズムセミナー（東京）を開催**するとともに、**各地域に出向き、セミナーや相談会を実施**する。スポーツツーリズムに取り組む地域の一体感の醸成やコンテンツ造成を促す。

・セミナーに合わせて**協議会参加企業等とのコラボイベントを検討**する。

【開催箇所】東京の他、全国複数箇所を予定
【内　　容】実践者からの報告、先進事例や有用情報等の共有等
【対 象 者】地方公共団体、地域スポーツコミッション、武道関係者、民間事業者、マスコミ関係者　等

検討

地域・関係者の様々な課題を解決する

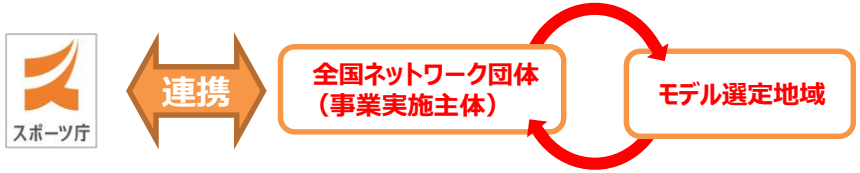
スポーツツーリズムの「モデル事業」を検討

・スポーツテーマ毎に全国ネットワーク団体（スポーツの振興やスポーツツーリズムの推進を目的として組織された団体）から課題をヒアリングし、地域・関係者が抱える課題を掘り起こし、その解決に向けて**モデル地域を選定し、複数年の継続した事業を実施**する。

・モデル地域の取組により得られた知見・成果は、**スポーツツーリズムに取り組む際のポイントとして整理し、手引き等にして、他の地域の取組の参考に供する**。

・**予算確保に向けて要検討**。

【テーマ例】サイクリング、ゴルフ、空手　等
【内容例】他地域・関係者との連携体制の構築、インバウンド受入体制の構築、効果的なプロモーション、ファムトリップやマーケティング調査の実施、一般参加型武道イベント等の開催　等



※ 別途、武道ツーリズムを推進するための全国団体の設立を検討する。

2018年度から継続して

「①スポーツコミッションを支援」「②官民連携プロモーションを展開」「③スポーツ文化ツーリズムを推進」

①2019年度は、これまで支援実績のない「**武道ツーリズム**」についても支援が行われるよう検討する。
②2018年度のプロモーション結果を踏まえ、**ターゲットを絞った更なるプロモーションやSNSの活用等、より効果的な手法を検討し実施**する。
③今後の有望な取組を発掘・表彰し、スポーツ文化ツーリズムの定着化を図るとともに、**国内外に向けた発信を強化**する。

継続